(1)	第 29 号	広	報	5 1	ちお	昭和34	年2月10日第1日	
度結核病棟特別会計歳入歳出 入歳出決算 ▽昭和三十二年 十二年度伝染病院特別会計歳 この新た。	上入年歳 7水歳度入 留道出産歳 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	まました。  を扱い、一件を保留して二十一年度   「おりです。   「おりです。	- 1900 - 1993. Suite ann 144	議案十五件を る一月十九日	ら休会に入つてお市議会足例会は、	32年度決算など十五件可	なるない。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	
大橋正賢氏(下塩)八木金吾氏(大町時))八木金吾氏(大町時))(「大町時))(大町))(大町))(大町))(「「「」))))(「「」))))))))(「」)))))))))))))	トロード 大は たは たは、	A	查委員選任=同意和三十三年度一般会計歳入歳	事業費者起資=原案可決< ▽公立中野俣小学校校舎増築 改築事業費起債=原案可決	▽ 小学校屋内体操場 ▽ 専決処分報告 ■承認可決 決算 = 以上七件を認定可決	など十五件可	第 29 号	
によつて現計予算額は、二億円であります。この追加更正は、合計百九十六万五千八百抵しされた追加更正子算額	おり可決されました。おり可決されました。昭和三十三年度一般会計歳	百九十六万五千八百四号に掲げる者を委員のほか、次の各 その請求(第十二条)市町村長は、選 き旨の請求(抜粋)	に 関 す る	八木金吾氏(大野)外山兵衛氏(小貢)) 人山兵衛氏(小貢))	(順不同)会から推薦されました。任として改めて次の五氏が議	決 #	発行人 <b>万尾市</b> 新潟県栃尾市 話(代表)750 <b>口の動き</b> 「月末日現在) は帯数7.210 、口38.506人 男18.651人 女19.855人	
- 市役所費が三十七万円、こ 末手当などが主なものです。 講会費が四千七百七十円、	ましは次のとおりです。そ回の追加更正予算のあらとなりました。	八百円可決	委員について、これを推薦し十二条の規定により選任した【第十七条】市町村長は、第	する者五人以内た農業委員会の所掌に属す	二、当該市町村議会が推薦し一、(略)			
五十円とインフルエンザワクきの予防費関係八万八千三百おいて赤痢が集団発生したと四百五十円、これは栃尾小に	保健衛生費で二十三万五千日かは組替えだけでありますの採暖費の追加であり、このしたけであります	れは上塩小九川冬季分校 建設費補助金二十万円であり ます。 社会教育費および公民館費 させん。 たけで追加はあり	教育諸費で二十五万円、こえによるものであります。円の減額となつており、組替	中学校費では二万八千五百若干ずつの追加であります。れ千円、このほかは組替えと	か九ヵ校分の修繕料が十八万円、これは営繕費で栃尾小ほ小学校費で十九万七千九百	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	「写真は、議会を傍聴す る中学生」 る地図の作製費の追加が二 う地図の作製費の追加が二	(籔つて保存いたしましよう)
する予定です。 昭和三十二年度の決算状況があつて決定されたものです	吉氏を選任、議会の同意可決で、市長が後任として西片俊の都合によつて辞任されたの氏が、さる一月十九日一身上におけた名相の月田に一創	監査委員として在任中であつた 一職会議員から選出した監 れました。 れました。	を図つてあります。	ほかたらない百六十九万八千円、寄附金で十四万円、その使用料手数料で十四万円、その	【歳入】これらの豺源として会の負担金であります。れは新潟県東北開発推進協議	金であります。 したい、臨時雇に要する賃 するため、臨時雇に要する賃 するため、臨時雇に要する賃 したいは選挙人名薄を作成 するため、臨時雇に要する賃	係調査費の三十四万七千円で五万円と守門総合開発開田関西方円と守門総合開発開田関チン代十四万七千百円であり	3

## ▽同情袋によるもの ▽同情袋によるもの 七万五千八十一円 このほど本庁舎に移転いたし教育委員会(事務局)が、 敎育委員会 観光写真入選作 守 門 渡辺利雄(土々町) ▽旧舘(二階)職会事務室 ●業委員会 ●田舘(二階)職会事務所、産業課 と課、福祉事務所、産業課 と課、福祉事務所、産業課 市役所電話の お 知 6 せ けてください。 を呼びだしてください。 ります。 耕作面積五〇アール(五反歩) 1、農業経営者で本市の場合 はまらなければなりません。 ----国民健康保険法改正一月一日から 月 国保だより 夜間は次のよう ĸ ts す。 -

国民健康保険法が改正され られます。 )お、前記の条件を具備したも」の状態によりきまります。な・個々の経営状態、返済能力等 〓 りて、 た被保険者証の書き換えが行 に初ます。 あらましをお知らせいたしましていたゞきたい点についてとがら、および今後特に注意 回被保険者証の書き換えと、 その主な改正点について、一月一日から適用されました ■ 市福祉事務所および市内各 常園(下樫出)ーでは、たゞ 育園(下樫出)ーでは、たゞ うます。申し込みを受付けてお ります。申し込みを受付けてお • へお問い合せ下さい。(農委) • る。詳細は農業委員会事務局 • 書を提出しなければなりませ ず届出てください。 ず届出てください。 がん、転出はそのつど必ずの転入、転出はそのつど必 保育所の 入所児童を募集中 必険に \$

昭和34年2月10日発行

報 広

L

ł

単

5

7

V٤

_	1
10	1.2
-	- 60

	取りってのよう、カンショー いたりい たい たい 自作 豊資金を のできかに記当する 愛金の外
--	---

(3)	(第三種郵便物認可)	広	報と	ちお	昭和34年2月10日発行	昭和 34	年2月10日発行		広	報	٤
れういれ	こく、にら。さかうばとも祭数今しんと学かりよ、す々日かおお校りとこるのましら思にと	たつのは早いもの	€ 児 八 年 入 ま 童 年 四 学 岸 お 四 月 児	土建設の基礎であることの徹		<b>下来伝、上来伝、松尾、栗山</b> <b>第十六分団】(諸橋多助)</b>	一之貝、比礼、軽井沢 「第十四分団」(高橋 実) 「第十四分団」(高橋 実) 「第十四分団」(高橋 実)	約、二日町、下塩、人面、文袋、二日町、下塩、人面、文(第八分団)(渡辺駒一)熊二ツ郷屋、山屋、明戸吉水、上標出、下樫田、山口	の分団】(村越喜四郎)	(平林与一郎)	「「「「「「「「「「」」」」、「「「」」、「「」」、「「」」、「」、「」、「」、
とか、「お前はつていることです。	一面また、どんなに期待といようことへ思います。 たんなに期待といよう いためている のです。ことへ思います。 た不安れのです。子どもは子どもなり が仲よった社会に入る です。子どもは子どもなり が仲ようた社会に入る からはなれて しょうしいが家 人学前の子もとをは	よい所、楽しい所	よ 心が 入 か が ろ ら が 水 か か 水 か か 水 の の れ あ か りゃ の お 期			たまものであり、教育にプラす。これは、日頃皆さんの教	受七のを教年 像余額と関月 な円はめ係か	(なっ) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	七千円の	一件の増	に比べるの表示。年間
に、はりあいを持たせるか行くのを待つているように、子どもたちが行くのを待つているよい所だ。一日も早くお前	「男体検査 になることが根本な だから、チどもたち だから、チどもたち	かないのです。先生と子どもなことがあつては、うまく行れることがあつては、うまく行	、芹菜とこっぷる方は、子菜とこっぷるい。ことに、今のい」なんていわなたいわない。	1 - T	マ	さい)    (教育委員会)	そう役立つことでしよう。だっ役立つことでしよう。がなお、これらはそれぞれの謝いたしております。	<sup>1</sup> 五 十 府 7 円		A CONTRACTOR OF	····································
0 1 10	<b>実施</b> 手数がかゝらぬよう、今から す数がかゝらぬよう、今から に、なるべく たんなしまつ のです。身の のです。身の のです。身の	んどけ親の手をはなれて、集いて世話をしていたのが、こ今まで何かと「務かそけに	ま 分のことは いわない たいわない たいわない	3、観察の努力工夫の点に科あつた。 2、図表の作製はよい傾向で	1、 次のような 大 要 た 志 か た た た た た か た か た か た か た か た の よ り な の よ う な た に 名 分 校 の よ う な の 大 一 年 一 年 谷 分 校 の 武 の よ う な の 大 一 年 一 年 谷 分 校 の 武 の よ う な の 大 一 年 谷 分 校 の 武 の 大 一 年 谷 分 校 の 武 の 、 の よ う な の 大 の の 式 の の 式 の の 式 の 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年 一 一 年 一 一 年 一 一 の の つ つ い つ て の 一 の 一 の の 一 の つ つ つ つ の の の 一 の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	+七吋テレビ愛像機 雪民健康保 日日、健康保	放送施設設備費	十七吋テレビ受像機(親子式)	樹(糸ひば、	V	(6尺×19尺) 物 置 小 屋
	よ、今のうちこ早く治療して では新人生の健康診断(今ま での身体検査)をいたします での身体検査)をいたします での身体検査)をいたします たなつております。伝染病と いずれ、近いうちに、学校 たなつております。伝染病と になつております。伝染病と たなっております。 になっております。 になっております。 でやることです	なによりもたいせつのじようぶなからだてます。	~せてもら、	君が選出されまし、社場谷の	会した6あ計5た性上4実学 出なての、る算、もをげ、用的 場おもでメかを収の考る今性な らありら算支をえ課後は研 と思わるとはみ	<sup>座</sup> 険 税税 −	100,000円 武	一大	四 本	10,000	一 棟
いし検そしろた査れで	今のうちこ早く冶豪してそのうちこ早く冶豪してまた簡単になおせる病気でやることくわしい方法でやることくわしい方法でやること、昨年成立したします。伝染病としております。それでよりもたのでよりもになっていて	いせつなのは		されました。 (社会教育課)	の越 らなたの質い応地と た 平大 脱ついがの °じ城り が	第二式 四月 第一月 分分 てあ の 学校	荷頃中後援会代表	大 土 仲子 町 町 稲鈴稲 田倉田	一之渡戸	一之貝小学校PTA	<b>吹</b> 谷区長
らんれるの 日書たらて にノ 当	皆本策査の目別ならびこ人学 が、よりの学校にお聞きく に、ご遠慮なく市の学校教育 に、ご遠慮なく市の学校教育 に、ご遠慮なく市の学校教育 に、ご遠慮なく市の学校教育 に、ご遠慮なく市の学校教育 に、ごっ、ありのまゝの子	たいに心配すいくための、		©夜遊びや浮気封じと	◎     子子 △ 悦 △       時     新       占     ○       ○     小	<b>ごす</b> す す の念 定附	SAA 代代保保 単工 人代表 表 諸 諸 橋橋 橋 橋 橋 橋 橋 橋 第 五 岡 郡 本 人 代 泉 、 八 代 、 八 本 、 人 代 、 人 本 、 人 、 人 、 人 、 人 、 人 、 人 、 人 、 人 、	石田 一 石田 一 七 二 名 務	熊太	校PTA 程見耶礼三	大崎多之助
校いたちていたちでの 教育します	ら入にのりがはせだの が学った。 であ、 での なる 学くで、 な と 校 た さ の く 育 点 思 か た 、 で の あ 、 て に の た 、 て で 、 た で 、 た で 、 ろ で 、 ろ で 、 ろ で 、 ろ で 、 ろ で 、 ろ で 、 ろ で 、 ろ で の 、 ろ で の く こ の で の く の 、 ろ の く の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ ろ の ろ の ろ	ることはありましたの参考にす	うなき進めて		醸 にふむ ジシン て ( ( ( 小 小 小 小 小 一 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	中 野 侯 中	荷     入     上       項     東     塩       中     中     中	栃尾中		一之貝小	<b>吹</b> 谷小

-

Ł	ち	お
		_

(2)

		ております。この十九四を第				
= 消防団出初式 =		生原因別に見ますと、弄火三	品目	数量	寄附者。氏名(啓称略)	けた学校
無火災分団を長衫		タバコ二件、以下放火、炭火件、煙突二件、たき火二件、			「和田慶蔵」	
栃尾市消防団では、さる一	第十八分団〕(金内新八郎)	コンロ、ちようちん、火鉢、いろり残火、ガソリン、石油	板尾小フール建設費	KUN, UNDET.	岩神猪俣佐平•大野)石田、孩子,一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	
日栃尾小学校で恒例の出	西中野侯、新山、繁窪	マツチ、ガス、電気の各一件	教育施設費	日000,0114.1	隹	栃尾小
初式を行いました。	【第十九分団】 (米山 忠)	となつており、弄火(子供の	「右眉ハン」		一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	1
特に今回からは一年間無火	半蔵金、田代	火遊び)がトップとなつてい	全右	THOOP OUT	· 外 二 〇	1
		ることは考えさせられる点で	十七时テレビ受像機	一式	仲子町 鈴倉織物 KK	
無火災分団である十一の分団とに決め、昭和三十三年中の	<b>火災</b> 絶主犬兄	るわけであります。	十四时 "	一式	下谷内 斎 藤 省 吾	
を表彰、竿頭綬がそれぞれ授	レジョとオン	ことしこそ無火災をめざし		-	樫出小学校PTA	
無火災分団次のとおりです	件数は十九件で損害額三百六昭和三十三年中の火災勇生	いたしましよう。	木製四人乗シー ソス本製四人乗音通ぶらんこ	"" 	代表 関根甚一郎	樫出小
(分団長名)	千二百円		十七吋テレビ受像機	 式	東京都千代田区本久馬	人面小
	となつて		そこで登録してたこの見ていた。	1000円	東京都葛飾区を数を欠	東谷小
金町三子が一名一部一日、三子が一名一で、「一日」を開いていた。	語・	at at the second s	物置小	± 1	マドマモンちゃこう	V A